

午後Ⅰ試験

問1

問1では、SaaSを利用したシステム導入プロジェクトを題材に、SaaSの特長を生かした導入手順について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問2(3)は、正答率が低かった。M社の最新のFAQや問合せデータなどに言及せず、オペレーターの運用だけに着目した解答が多かった。要件定義では用いなかったデータを用いた受入テストから新たな要求が生じること、新たな要求を把握した上で適切に対応することが重要であることを理解してほしい。

設問3(2)は、正答率がやや低かった。第2次開発の評価基準への適合に関する解答が多かった。機能の採否の判断には評価基準の適合も当然のことながら、UXの改善に向けた適切なアプローチという視点が重要であることを理解してほしい。

問2

問2では、ECサイトを刷新し新たな事業を実現するためのプロジェクトを題材に、顧客の要望を迅速かつ的確に把握して対応できるプロジェクトについて出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問3(1)は、正答率が低かった。“Aプロジェクトの最優先の目標”そのものを解答した受験者が多かった。“Aプロジェクトの最優先の目標”に自動化ツールがどのように寄与するかを読み取った上で正答を導き出してほしい。

設問3(2)は、正答率が低かった。“無駄を省く”、“効率化を図る”といった点を解答した受験者が散見された。運用課へのヒアリングから、“ガバナンス規程の遵守”は必須であり、これに対応するためのプロセスに見直すことでデプロイツールを導入しつつ、安定した運用を実現することが狙いであることを理解してほしい。

問3

問3では、DXの実現を目的とするシステム開発プロジェクトを題材に、自律的なマネジメントを行うためのチームビルディングについて出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1(1)は、正答率が低かった。“DXを推進する役割”や“DXの推進が重要であることをメンバーに伝える役割”と解答した受験者が多かった。プロジェクトの目的は“新事業の実現”である。DXを推進する事業開発部のメンバーをプロジェクトのメンバーとして選任することの意味を理解し、正答を導き出してほしい。

設問3(4)は、正答率がやや低かった。プロジェクトの目的や目標と、経営の目的を混同した解答が散見された。プロジェクトマネジメント業務を担う者として、“プロジェクトの目的を実現するために有益”という観点を意識する必要があることを理解してほしい。